

平成16年度「海外先進教育研究実践支援プログラム」評価書（案）

大学等名		整理番号	
取組名称			
取組担当者名			
判定者名			

内容	得点
1 大学としての派遣事業の全体計画について	
① 大学等が自ら掲げる教育研究上の理念・目的等に基づいて全体計画を設定しているか。	
② 学長を中心としたマネジメント体制の下、構成員による組織を挙げた取組となっているか。また、意義・価値を共有しているか。	
③ 大学等の人的物的支援体制は十分か。	
④ 目的・目標が具体的活明確に設定され、かつ実績があるなど実現性が高い妥当なものとなっているか。	
⑤ 事業の成果を大学等の教育改善にどのように結び付けようとしているか。	
2 個別の派遣計画・内容等について	
① 計画内容が具体的かつ明確なものとなっているか。	
② 派遣先(国、機関など)でなければ、達成できない取組であるか。	
③ 派遣期間は、取組を遂行する上で、適当であるか。	
④ 派遣者として適任か。(取組の活動状況及び教育研究の活動実績)	
⑤ 派遣先の受け入れ環境(指導者、教育研究環境等)は妥当であるか。	
⑥ 発展する可能性があり、更なる効果を期待できるか。	

※得点は4点から0点までとし、評価基準は以下の通りとする。

4点…十分認められる。

3点…認められる。

2点…必ずしも認められない。

1点…認められない。

0点…記載内容からは評価できない。

総合評価 (評定 _____)	A この取組は、非常に優れたものである。 B この取組は、事業の全体計画、実現可能性、将来性、公共性等のいくつかの点で、優れたものが見受けられる。 C この取組は、事業の全体計画、実現可能性、将来性、公共性等のいくつかの点で不十分な点が見受けられ、努力が求められる。 D この取組は、様々な点で不十分であり、一層の努力が求められる。
< 総合評価所見 >	
(特に優れている点)	
(取組の不十分な点)	